



NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する

会

はじめに

11 月も中旬となり、選挙が重なりあって慌ただしさと寒さが増してきました。ザンビアでは雨期が近づき暑さが厳しくなってきたそうです。

皆様にはいかがお過ごしでしょうか。ニュース第 4 号をお届けします。（文責 理事長 日高良雄）

これまでの会の経過

現時点(11 月 16 日)で、賛助会員が 74 名となりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

また、「月刊地域医学」に「ザンビアのへき地を支える日本人医師の巡回診療・公衆衛生活動」と題した自由投稿を掲載していただきました。30 部別冊がありますので賛助会員募集に必要という方は日高 (hidaka1956@gmail.com) までご連絡ください。

認定 NPO 法人化のための 100 人の賛助会員募集に向けてご協力をよろしくお願いします。

ザンビアでの活動状況 11 月 2 日の啓蒙活動（山元先生から届きました）

ルアノ地区では、最近下痢・赤痢疑いや結膜炎の患者数が増加しています。小川から汲んできた水をそのまま飲料や水浴に使っているからです。安全できれいな水を使うことの重要性和、いまだに蚊帳を使用せずマラリアに罹患する子ども達が見られることから、マラリア予防のためにネットが必要なことなどを住民に伝えるために、ルアノ地区住民・チペンビヘルスセンタースタッフと協議し、センシタイゼーションを実施することになりました。

センシタイゼーションというのは、地区の人々を集めて、ドラマグループ（7～8 人ぐらい）を雇って、ドラマや歌、踊りなどでマラリアなどの疾病の症状、その予防や治療などについて人々にわかりやすく説明するものです。新聞、テレビ、ラジオなど情報伝達の手段がなく、歌や踊りが大好きな人々にとってはとても有効な情報伝達の手段と考えられています。今回雇用したドラマグループは、普段は学校の先生などそれぞれの仕事をしながら、週に 1 回チペンビヘルスセンターを中心に活動

前の晩に雨が降り、今にも降り出しそうな天気のために、人々の出陣
グループのパフォーマンスが始まる 12 時ごろには、150 人近くの人々



れの村の長、ルアノ地区の役職に就いている人、我々の紹介やあいさつ、今日のセンシタイゼーションの内容などが紹介されました。ドラマグループがマラリアは怖い病気だと歌いながら入場し、太鼓をたたきながら、ダンスが始まります。何人かの住民が飛び入りで参加し、場が盛り上がっていきます。その後で、マラリアのドラマが始まります。娘がマラリアになって、祈祷師 (traditional healer) の所に連れていき、おまじないをしてもらい、多額のお金を要求されます。この祈祷師は、ばさばさの髪の毛のカツラをかぶり、顔には奇妙なペインティングをし、実に恐ろしくリアルでした。近づいてきて、祈祷の水をかけるのですが、私は怖くて逃げてしまい、みんなに大笑いされてしまいました。その後で、コミュニティヘルスワーカーが彼らの家を訪問し、マラリアは夜ネットの下で寝れば予防できることなどを説明します。ドラマが終わると、ヘルスセンターをまとめ、再度ネットが必要なことを人々に伝えます。



祈祷師の登場



クロリンの説明

その後は、安全な水についての話です。仲のいい夫婦がいます。二人はどこからか汲んできた水を飲んでいました。そこに2人のコミュニティヘルスワーカーがやってきて、この1人が前回祈祷師をやった人でしたのでまた笑ってしまいましたが、水にはクロリンを加えないと下痢などをして危険だと説明するのですが、夫婦は聞く耳を持たず、クロリンは洗濯に使って、衣類を白くするのだと言って、コミュニティヘルスワーカーを追い出してしまいます。その直後から、妻はおなかの調子がおかしくなり、下がないので、木の陰で何度も用を足します。みんな大笑いですが、これがルアノではよくあることなので、これがルアノの現実です。そこに再び2人のコミュニティヘルスワーカーが来て、脱水防止剤 (oral rehydration salts) を作って脱水を予防すること、水にはクロリンを入れて予防できることなどを説明します。ドラマが終わると、ヘルスセンタースタッフをまとめて終了です。

2時間近くたち、小さな子供たちはやや退屈そうにうろうろし始めましたが、最後のまとめで次々と質問が出たのには驚きました。人々はどうかクロリンを使うか知らなかったようでした。

ネットとクロリンはコミュニティヘルスワーカーやNHC (neighborhood health committee) メンバーがそれぞれ 5000 クワチャ (80 円)、500 クワチャ (8 円) で販売しています。無料にすればいいと思われるかもしれませんが、無料ですと魚とりの網に使ったり、それこそ洗濯に使われるだけです。

全てが終了して、住民が準備してくれたシマ (トウモロコシの粉を練ったザンビアの主食) とヤギ肉、チキンの煮込んだおかずをいただきました。今日はトマトと玉ねぎがなかったとかで、いつもほどおいしくはありませんでしたが、ヤギ肉がとても柔らかく驚きました。みなさんがクロリンを使用して、下痢や結膜炎の患者が少なくなることを願って、ルアノを後にしました。

再度のお願い 法人口座として郵便局に下記振替口座を開設しました。協力いただける方へ、下記口座へ賛助会費(一口 年 5000 円) の送金と日高 (hidaka1956@gmail.com) への連絡をお願いします。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号番号 01720-9-126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 店名: 179、預金種目: 当座、口座番号: 0126351 加入者名: 同上
皆様のご協力をよろしくお願いします。